

江津地域に新設される県立高校についての県議会質問・答弁について
島根県自民党議員連盟坪内議員 2月定例会一般質問・教育長答弁

令和6年2月29日

昨年6月より、江津地域の県立高校の在り方についての検討が始められ、県議会でも継続して取り上げてきました。昨年12月の教育委員会会議において、江津高校と江津工業高校の2校を統合し、令和10年度前後を目途に新設校を設置する方針が決定されました。先日準備委員会の初会合が行われたところです。

地域住民、関係者のなかに、両校が長年にわたって地域に根差して高校教育を展開していることから両校をそれぞれ存続させたい想いと、生徒数の減少などの現状を踏まえると統合再編はやむを得ず、江津地域に県立の普通科教育と工業教育を残し、新設校設置に新たな魅力を加えることで、子どもたちの選択肢を狭めないことが重要であるという想いがありました。

残念ながら両校をそれぞれ残したいという想いに応えることができず、申し訳ない気持ちもありますが、新設校を魅力的な学校にしていくことでそれらの声に応えていきたいと思っています。

丸山知事の今議会施政方針において、江津地域の子どもたちにとって望ましい教育環境を将来にわたって維持できるよう施設整備等についても検討を進めると述べられました。先般、地元市議会の皆さんと江津工業高校の校舎・寄宿舎、さらには出雲工業高校の施設を見学してきました。江津高校と江津工業高校が痛みを伴って1つの学校に生まれ変わる上で、現状の江津工業高校の施設では新設校設置の期待感が薄まってしまわないかと考えます。施設設備を求める声については両校関係者の要望も強いと思いますので、真摯に対応していただきたいと考えます。

今後は、教育課程や施設整備などに議論が移りますが、普通科系と工業科系の合併による学校の設置は県内初とのことで、県教育委員会が定める各高校に期待される社会的役割であるスクール・ミッションや各高校が定める学校運営の基本方針であるグランドデザインといった学校の土台となる部分の策定が喫緊に対応すべき点ではないでしょうか。

江津高校のスクール・ミッションは、「多様な進路希望に対応したきめ細かな学びと、地域と連携した課題解決型学習等を通して、地域や社会に貢献するために挑戦し、未来を変えていく力をもった人材を育成する」であり、江津工業高校は「地元企業等との連携による取組の成果を生かし、社会の変化や地域の産業界からのニーズに応えるものづくり教育を通して、地域産業等を担うことができる専門性豊かな工業人材を育成する」であります。

両校の特色を継承しつつ、新たな息吹を吹き込んだスクール・ミッション、グランドデザインを策定し、それらに基づいたその後の教育課程の編成や施設整備が遅滞なく進められる必要があると考えますが、

新設校のスクール・ミッション、グランドデザインをどのように策定していくのか伺います。

(教育長答弁)

スクール・ミッションとは、設置者である県教育委員会が各高等学校に期待される社会的役割等を示すもので、学校や学校運営協議会などの関係者と連携しながら策定するものであります。県教育委員会は、令和3年3月31日の国からの通知を基に各高等学校のスクール・ミッションを5年3月に策定し、公表しております。

グランドデザインとは、スクール・ミッションを基盤に、育てたい生徒像、目指す学校像、求める生徒像などの学校運営基本方針を、各校が学校運営協議会やコンソーシアムなど各方面からの意見を聴きながら定め、毎年度見直すものであります。これも、全ての高等学校において策定し、公表しております。

江津地域の新設校のスクール・ミッションについては、昨年12月に決定しました基本的な方針に基づき、教育委員会事務局と江津高校、江津工業高校の管理

職等によって構成し、一昨日に設置いたしました新設校開校準備委員会において検討してまいります。そして、地元関係者の意見も丁寧に聴き、その意見も踏まえた上で、県教育委員会において策定いたします。策定の時期については、6年度中を目途に進めてまいります。

グランドデザインについても、準備委員会において、スクール・ミッションと並行して検討してまいります。策定に当たっては、検討を繰り返し最終的に、新設校の校長が、生徒募集開始までに決定いたします。

先般、県教育委員会は、新設校の設置場所は江津工業高校を予定し、開校については、2028年度前後を目安として決定されていますが、

今後どのようなスケジュールで開校準備を行っていくのか伺います。あわせて、新設校に対する地元や関係者の要望も多いが、それらの声をどのように聴き、対応していくのか伺います。

(教育長答弁)

基本的な方針においては、新設校の開校を令和10年度前後としており、概ね今後の4年間で具体的な教育内容の検討や施設・設備の整備などを実施してまいります。

詳細は、準備委員会で検討することとなりますが、前半の5年度から6年度をI期の準備期間とし、スクール・ミッションやグランドデザイン、学科・コース名、教育課程などの教育内容、施設・設備の整備の計画などを検討いたします。後半の7年度から9年度をII期とし、教務規程や校則等の様々な規定や、学校運営協議会や校内の組織体制など、開校までに準備すべき詳細部分を検討することとしております。

準備委員会には、オブザーバーとして、江津市や地元産業界等も参画しているGO(ゴー)▶GOTSU(ゴウツ)コンソーシアムの関係者にも必要に応じて検討に参加していただきます。また、新設校に入学してくる学年の子どもたちが中学生になった段階で意見を聴く機会を持ちながら検討を進め、江津高校と江津工業高校、それぞれの特色を生かした魅力ある教育を実現してまいります。